

国民の審判で「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2013年3月12日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

命・くらしを壊すTPP参加するな！

3.11追悼 東日本大震災復興最優先 TPP交渉参加に反対する緊急道民集会



東日本大震災から2年目の3月11日、「TPP交渉参加に反対する緊急道民集会」が札幌市内で行われ、全道各地から1400人が集まりました。集会後は市内をデモ行進しました。

同集会実行委員会の構成（北海道商工会連合会、北海道消費者協会、北海道生活協同組合連合会、北海道医師会、日本労働組合総連合会北海道連合会、北海道農民連盟、北海道農業協同組合中央会、北海道漁業協同組合連合会）

主催者から「安倍首相が、明後日にもTPPに参加表明しようとしている。被災地の復興の妨げになります。本日3月11日は追悼の日であるとともに、国を滅ぼすTPP参加を国民こぞって断固反対する日になった。あきらめることなくたたかっていきましょう」とあいさつしました。生協連と医師会から決意表明がされ、飛田JA中央会会長が集会決議を読み上げ、全体で確認しました。

生命と安全を守れ！ 国民皆保険制度を壊すTPPはやめよ 長瀬清・医師会長が決意表明

医師会は、生命と安全を守る立場から、TPPに反対しています。1993年クリントン・宮沢会談で規制緩和・構造改革要求が出されて、翌年、年次改革要望書が出されました。医療分野へ市場原理を導入せよと毎年のように出されています。TPP参加で「薬価や材料価格が高騰する」「混合診療の解禁」「営利企業の参入」「医療政策への制約」など懸念されます。道医師会は、安心して適切な医療を受ける制度を守りぬく立場で、一緒に頑張っていきます。

政党も参加 紙智子参議が国会議員で唯一参加し、連帯のあいさつ

集会では、民主党、共産党、新党大地の代表や国会議員秘書が参加しました。国会議員で唯一参加した紙智子参議院議員（共産党）は、「（9日）東京電力福島原発を視察してきました。水素爆破した3号機は高い放射線量で立ち入ることはできませんでした。汚染水をどう処理するも問題になっています。1日400トンの汚染水の保管場所はあと2年で一杯に。濃度を薄くし海に排水するといいますがトリチウムは除けない。事故は今も広がっています。

オバマ大統領との会談前に、安倍総理に自民党のTPPの6項目の選挙公約を守るか迫りましたが、まともに答えませんでした。会談では『関税撤廃は聖域ではないことを確認した』と言いますが、共同声明では「聖域」がないことがはっきりしています。また、メキシコやカナダが交渉参加に当たり、最初の9カ国で決めた事は蒸し返さないことなどが条件になっていたことも明らかになりました

と発言。安倍総理に参加表明させないことを大前提に、①徹底した情報公開 ②公約した議員のチェック ③道民に内容を知らせていくことが重要と呼びかけ、「TPPは、アメリカの多国籍企業が外国の制約を取り払うことが目的で、国民のためではない。さらに幅広い共同を広げましょう」とあいさつをしました。



福島の被災者からも訴え 当事者に声は何よりの力 「故郷を守ってほしい」

被災者を代表して、福島県から北海道に家族で避難してきた戸隆子さんがあいさつしました。「私の故郷・富岡町は立ち入りのできない町です。去年許可を得て帰ってきました。そこには、牛や動物たちが歩き回り、田畑が荒れていました。今後の身体的な影響はわかりません。北海道の食べ物は安心して食べることができます。故郷では何十年農業を再開できない。守っていかねばならないのは経済優先の社会ではありません。声をあがることは無駄ではない。私は2年間の活動を通して、当事者の声は何より重いと確信しています。北海道のみなさんによくしていただいています。北海道を守りたい。故郷を守れなかった私の願いとして、やさしい北海道の人が安心してらせる社会を実現してほしい」と訴えました。大震災が起きた2時46分には黙とうをしました。